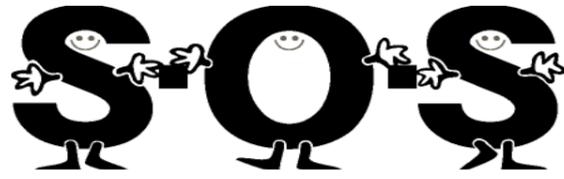


通所介護ナイス・デイ / 訪問介護ナイス・ケア / 小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム
住宅型有料老人ホーム愛宕の家 / 有料職業紹介つしま紹介所 / 学童・託児ナイス・キッズ
喫茶・軽食のひら

vol. 141通信 (平成24年5月9日発行)



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036

代表TEL:(0567)26-3921
FAX:(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

5月20日(日)OPEN!!

<A・H>

喫茶店 “ のひら ” ついにOPENします

入居者さんにも看板の図案を見てもらい、只今、作製真っ最中～！！

会社の登記簿謄本には喫茶店の営業も追加登記しました。5月1日には愛知県食品衛生協会の検査も受け、許可を得ました。今では、入居者さんが気軽に気分転換できるように。ご家族やご近所さんが面会や気軽に立寄りくつろげる場所になれるように。職員が行き詰った時にリフレッシュできるように。等々、欲張る想いは膨らむ一方
実は、5月17日に職員限定仮OPENし、17日～19日の3日間は練習期間にすることにしました。強力助っ人としてオープニングスタッフも増員しますが慣れないことなのでやはり心配なんですね～。さあ、どんな喫茶店になるのやら……。至らない点が多々あるかと思いますが、皆さんどうぞお立ち寄り下さ～い (AOA) /



生活全体に関わる心地よさを感じる……。 / ナイス・ホーム

<Y・O & R・W>

下の写真は4月18日。天気の良い日に大きなこのぼりを見ながらゆったりと日向ぼっこを楽しんでいた。この時、Wさんは既に愛宕の家に入居していた。愛宕の家増床OPENの4月1日に入居したのだ。本来なら施設入居した時点で、小規模登録を解除してもらうよう勧めることを方針としている。地域密着小規模多機能型居宅介護サービスとは、あくまでも地域(自宅)に住んでいる方が登録利用することに意味を持つ制度だと認識しているからだ。しかし、Wさんは入居後も登録利用していた。なぜなら、家族にその趣旨を説明した時、『いつ家に帰ると言って大騒ぎするか分からない。様子が落ち着くと分かるまでは登録したままにしてほしい。』との声が拳がったからである。1年前、強くキツイ個性の持ち主として関わり始めた方だった。たった1年弱の関わりだが、今に至るまでに紆余曲折は山程あったから、家族の心配は十分に想像できた。“しばらく様子を見ましょう”と小規模登録を継続していた。ところが、4月23日に突然熱発。この直後から、ガタガタと体調を崩し、5月1日



早朝に息を引き取った。葬儀に参列した際、ご近所の方々が声をかけてくれた。私達の知らないWさんの人と成りを沢山教えてくれた。“とても信頼信望の厚い方”だったという。小規模多機能で生活全体に深く関わったからこそ思うことがある。個性の強い方だったが、日々の関わりの中で“愛らしさ”や“芯の強さ”を自然に感じ取っていた。長い人生には色々な顔がある。調子の良い時も悪い時も、Wさんはとって魅力的な方だった。

5月の利用状況と行事予定

日常の関わり / 愛宕の家

<T・Y>

ナイス・ケア(定員なし)
…新規サービス大歓迎
愛宕の家(定員17名)
…入居者13名
ナイス・ホーム(定員21名)
…登録者15名
つしま紹介所
…求人者・求職者大歓迎
ナイス・デイ(定員10名)

5月行事
10日 外食DAY
15日 小規模多機能
運営推進会議
20日 避難訓練
24日 誕生会

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 6 | 7 | 5 | 9 | 9 | 7 |

上記の数字(人数)は定期利用者数
(募集中 満員 お気軽に問合せ下さい)

入居者さんの中には外部サービス(通所介護等)を利用せずに主に居室で過ごす人も居ます。ひとりで過ごす時間も大切だと感じています。だからといって閉じこもりにはならない様に、居室を訪ねてお喋りをし、洗濯量みや新聞整理等を手伝ってもらえないか声を掛けています。家族のように皆で掃除や片付けを一緒に行う時間は結構楽しみ(?)なんですよ。



Tさんは、時々フラ～ッと共有スペースへ現れ、時にはテレビのチャンネル争い等でトラブルを勃発させることもあり。最初はチャンネル争いをほのぼのと見ていましたが、あまりの白熱ぶり。結局、ご家族へ居室にテレビを準備してもらうことになりました。直後、『娘が買ってくれた』と部屋から出て来ることは無くなった。争いもありませんが、良いことかしら？身も心も動かなさすぎてあつという間に筋力低下……。汗
いかん！いかん！やっぱり皆で過ごす刺激を作らなきゃ。ってね。

人の振り見て我がふり... / ナイス・ケア

<R・W>

期待の新人が4月に一時だけ加わりました。自称『30年来介護に携わってきて、多業種に勤めた経験ありです。介護なら何でもできますよ。』と豪語していたが、結果、3日で退職を希望してしまいました。(今となっては期待の新人は皮肉になるな...) 何年介護に従事していても、“SOSではあくまでも新人扱いをせよ”とのことで、就業研修開始。実力は確認すべし...と言う訳で、まずはトイレ介助をお願いした。介助開始から数分...、もう既に便座に座ってもらったであろう頃になっても新人さんがトイレから出て来ない。何の騒ぎも起きてないし、何だろう...。ひとまず声をかけた。返ってきたのは『まだおしっこ出てないですから～。』という言葉だった。(...今、何て言った??ということは?)と思って、チロツと戸を開けてみると、“トイレに座った利用者さんの前に座り、おしっこが出るのを待っていた”のだった。思わず『いくら要介護者でも、意識はあるよ。自分だったらおしっこする時に目の前に人がいて、気楽に出せる?』と伝えてハツとした。今は当たり前前の価値観だが、数年前は私も“目を離すと危険”だと思って介護していた。“人として”かぁ～。



新体制スタート / ナイス・デイ

<M・O>

4月1日、ギリギリまで迷った末のナイス・デイのサービス提供時間 9:15～16:35 がスタート。心の余裕を感じるどころか、朝、15分早く送迎に出ることに焦りさえ感じる日も多々である。それでも一ヶ月が過ぎ、利用者さんに『どお?』と感想を伺うと、「今までと何も変わらんよ(笑)」と言われる方がほとんど...。(何かショック。) 実際の日中の活動は、ホンのちょっとだが、“ゆとり”を持って個別に接することが出来ているような気がする。新体制が始まったと同時に以前から利用していた方が亡くられたり、新しい利用者さんが増えたり。職員の顔ぶれもちょっと入れ替わり、新しい気持ちで関わりを作ります。カラオケも新登場しました。今後はリハビリ機器も取り入れる予定。時間を伸ばした利点として、利用者さんと一緒に楽しく元気に過ごす時間をドンドン増やしていきたいと思う 今日この頃である。



看護師コーナー / ~誤嚥・摂食障害~ 日々関わる中での疑問や不安を解決できたなら...

<M・T>

3月24日、第2子目となる男子を「つるりん」と出産。1人目は恐怖の出産だったので、今回も難産覚悟だった。自宅の布団で産めたらどんなに幸せか～と思えるくらい自然な陣痛が始まり、あつという間に出産。時と場合によるけれど、自然に身体が起こす反応は、分娩に限らずタイミングを分かっているのだろう。さて、久しぶりに不安解決コーナー復活です。

疑問8「食べる時の姿勢は?」...高齢者や認知症の人にベッド上で食べてもらうことは避けた方がよいと言われている。なるべく食べ慣れた姿勢で。しかし、明らかに摂食・嚥下障害が明らかである場合、いくつかの条件を満たした上でベッド上の食事もあるようだ。

疑問9「食後や睡眠時の姿勢は?」...お腹を圧迫しない半起座位を勧められている。経管栄養などで胃から食道逆流があれば、半起座位で2～3時間過ごす逆流がかなり予防できる。睡眠時もベッドの頭を15度起こしておくといだろう。

4月1日、愛宕の家に誤嚥と診断された方が入居した。胃瘻はない。さて、どうやって栄養源を確保するか。医師と相談し、数日間の点滴を受けた後、意識状態が良くなったのをきっかけに本人が“食べたいと思う物を食べたい時に座って食べてもらった” 嫌なものは吐き出す力を持っている。時と場合によるけれど、タイミングが合ったらしく、今のところ誤嚥は起こしていない。

母親として / ナイス・キッズ

<H・O>

2人の子供を産み、本格復帰したのは長男3歳、次男1歳。実は、長男出産後に復帰したものの、直後に離職した経緯があり、夫も両親も再復帰には渋い顔。散々説得しての復帰でした。4月、次男も小学生になりました。キッズの生活にもすっかり馴染みました。親として、『もっと子供の相手をする時間を作ってあげるべきなのか。』と復帰を選択した自分に自信を持ってないまま、振返れば6年の時が経ちました。今、息子達が子供らしく伸び伸びと、そして色々な人に囲まれて立派に成長していることを実感します。母親としての選択にそろそろ自信を持っていいかしら。



編集後記

<A・M>

少しだけ申し訳なさそうな表情を残した笑顔で「ありがとう。」としきりに口にする方がいる。人は、誰かに「ありがとう。」と言ってもらえることを大きな喜びにして“また頑張ろう”という活力に繋げることもある。しかし、その人のその表情を思うと、少々さみしい気持ちになる。なぜだろうか...。きっと、あくまでも他人への遠慮・その方との距離を感じてしまうからだろう。こちらが勝手に関係を持ってたと思って立ち回っていても、相手も同じ温度で無い限りは空回りしていることになる。自分が『よし!』と思っていること程、謙虚に見直した方が良い物事が多いことに気付くようになった。今回もきっと同じだ。辛い。